

「いまあるもの」に目を向ける、職場を静かに支える大切なひと

組織がうまく回らないとき、「新しい仕組み」や「改革」が必要だと私たちはつい、「足りないもの」に目を向けがちです。もっと効率的に、もっと成果を、こんな風にして欲しかったらいいのに、組織に対する不満は解消されずにもやもやしていませんか。でも視点を変えることで「足りないものを足すこと」ではなく、「すでにあるもの」に目を向けてみて気づくこと、そして活かすことはできるかもしれません。今の会社を支えているのは、誰よりも静かに、確実に動いてくれている人たちです。「今あるもの」を見つめ直し感謝すること。それが、変化の時代にはじめのステップとして大切なマネジメントではないでしょうか。

職場にこんなひとはいませんか？

① このひとがいるとなぜか会議の結論とアクションプランが明確になる

話が脱線しても、自然に本題に戻してくれる。意見が対立しても、両方の良い点を拾い、着地点を見つけてくれる。そんな人がいる会議は、不思議と時間内に終わり、結論も出ます。いなくなった途端、話が長くなり、誰も決められなくなります。会議を整える人は、時間と関係を守る「舵取り役」であり、実はとても難しいことに気づきます。

② このひとがいると業務がスムーズにはかどる

電話対応、議事録、データ入力、スケジュール管理など、一見「誰でもできる」仕事を「誰も真似できない精度」でこなす人がいます。ミスなく、遅れなく、文句も言わずに自然と進めてくれるひとはいませんか。その正確さと継続力が、チームの基盤をつくっています。縁の下の力持ちは、静かにチームを支える存在です。

③ トラブルや問題が起こる前に気づくひと

問題が起きてから慌てる人は多いものです。でも、「起きる前に」そっと手を打ってくれる人がいます。会議室のダブルブッキングを防いだり、納期遅れを未然に防いだり。それは派手な成果ではないけれど、その小さな行動が組織の安定を支えています。そうした人の行動は、報告書にも残らず、拍手が起きることもありません。でも、組織が日々穏やかにまわっている背景には、こうした「静かな努力」が確かにあります。予防の力こそ、最も静かで、最も強いものです。

まずは**無料**セミナー等から試してみませんか。
下記QRコードの特典付きアンケートよりぜひご連絡ください。



採用、定着、育成等組織について
お悩みの企業の皆さま



社会保険労務士法人ウィズロム

④ 感情に振り回されない人

誰かが怒っていても、焦っていても、「まず落ち着きましょう」と冷静に場を整える人がいます。自分自身になにかトラブルや悩みがあったとしても常にフラットを保てることは簡単なことではありません。その人がいるだけで、チームの温度が一気に下がる、そんな感情の波を整える人は、組織を冷静な温度にもどしてくれる「汗」のような機能を発揮しています。冷静さは才能であり、穏やかさは力です。

⑤ 職人気質のひと

誰も見ていなくても、評価されなくても、「どうせやるならきちんとやりたい」と行動できるひとがどんな職場にもいませんか。そんな信念をもって仕事をする人は資料ひとつ、メールひとつに「誇り」を込める人だと思います。その誠実さが、組織全体の品質を底上げしています。静かな職人は、信頼というブランドを守る人でもあります。

⑥ 人と人の間にたつひと

営業と開発、上司と部下、先輩と後輩。本来ならぶつかり合う関係でも、「あの人が間に入ると不思議とまとまる」。ということはありますか、そんな「橋渡し役」がいます。彼らは全員から信頼されているからこそ、対立が調整できるのです。いなくなって初めて分かる信頼でつなぐ「人間関係の価値」はとても大きいのです。

⑦ 言にくいことを言ってくれる人

「これはちょっとおかしい」「このままだと危ない」。

関係性によってそう分かっているけど、誰も言い出せない場面はよくあります。そこで勇気を持って声をあげる人がいます。嫌われるかもしれないのに、そのあとやりにくい状況が生まれるかもしれないけれどあえて言う。それはチームへの想いの表現でもあります。本当に組織を想う人は、時に厳しい態度や言葉になることがあります。ただ相手を想い、誠意をもってひとと向き合うことができるひとは組織にとってとても大切な存在です。

【最後に一言】

そんなことを考えるとわたしのまわりにもそんなひとたちだらけだと気づきます。自分自身は運がいいなと感謝しています。仕事の成果をだすことはその仕事をとおしてだれかのもしくははなにかの役に立つことそしてその価値の分だけ報酬を得ることです。だとするとその成果にたどり着くまでにどれだけのひとの積み重ねでひとつの仕事が完成しているか考えてみる、そんな機会にしてもらえればと思います。

「いまあるもの」に目を向ける、ぜひ実践してください。

(文責：特定社会保険労務士・組織心理士／岡本芳幸)

